次世代自動車センター浜松　活動レポート　Vol.371

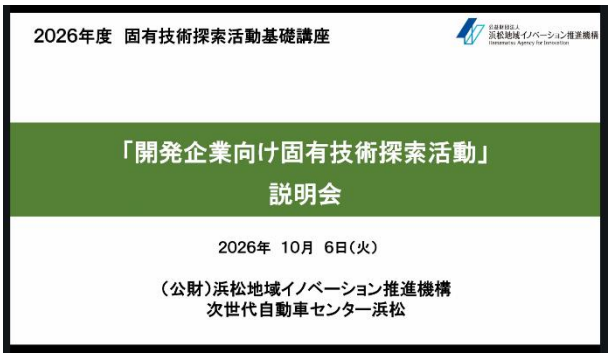
■ 開発企業向け固有技術探索活動説明会（会員限定）

会員企業の皆様が次世代自動車に対応するためには、自社の「固有技術」を認識、活用し、レベルアップを図ることによって、次世代自動車に搭載される部品を開発・設計、製造・販売していくことが必要です。

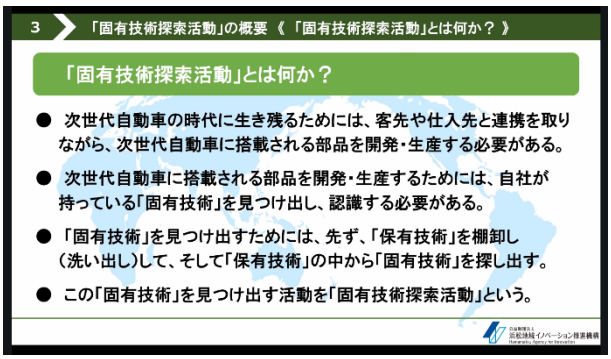
そのため、次世代自動車センター浜松では、毎年、会員企業様の「固有技術の見える化」やその手法として「固有技術探索チャート」の作成及び活用方法について取り組んでいただくため、「開発企業向け固有技術探索基礎講座」を開催しています。

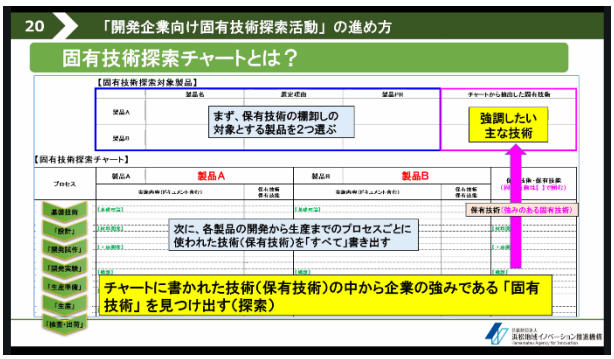
今回、今年度の基礎講座を開催するにあたり、その前段階として、当センターの堀センター長を講師として、固有技術探索活動の概要や特徴、固有技術探索チャート作成の流れ、基礎講座の進め方などについての説明会を Web 形式で開催しました。

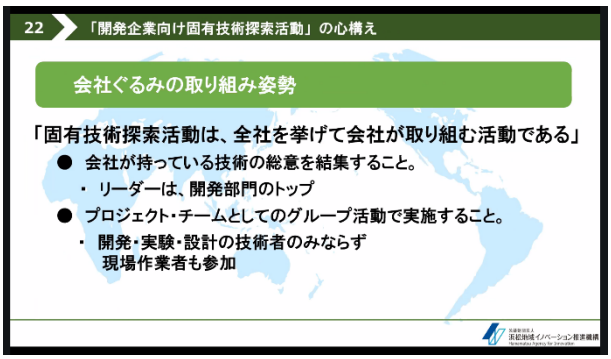
■日　時 ： ２０２６年１０月６日（火）13 時 30 分～14 時 20 分
■場　所 ： Ｗｅｂ形式
■参加者 ： １０社／２７名

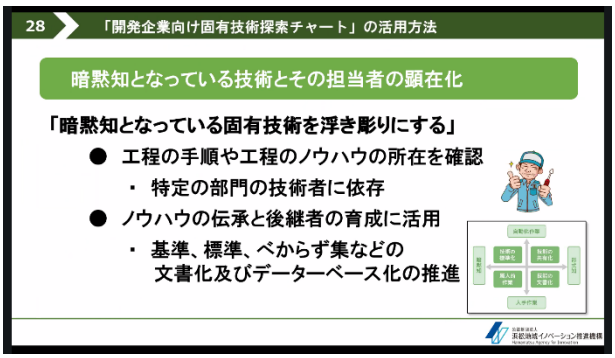












【参加者の声】

・自社が保有している技術や技能を改めて整理し、その中から強みとなる「固有技術」を見つけ出し、見える化するという考え方が参考になった。普段の業務の中では当たり前と捉えている技術やノウハウについても、整理することで新たな活用方法や今後の事業展開につながる可能性があると感じた。
・次に成長する為には何が必要かがわかりやすかった。
・自社の固有技術を見つけることで次世代自動車の開発の強みになることが参考になった。
・開発企業が保有する独自技術の探索方法について、理解を深めることができた。説明内容は理解しやすく、技術探索活動の概要を把握することができた。
・自社が何を得意としている技術があるのか考えるきっかけとなった。この活動の重要性と活用事例を知ることができ有益であった。
・今後開催される固有技術探索活動基礎講座の概要を理解することができたことと、この内容が自社において適切か実施できる体制はあるかを含め検討する機会を得られた。
・固有技術探索活動やチャートがどのようなもので、どのように活用されるのかが理解できた。
・固有技術の樹脂成型を用い、さらに発展させＯＡ機器部品からドローンのプロペラ開発への転身など実例を交えて説明いただきイメージが付きやすかった。
・具体的な事例や固有技術探索チャートを用いて説明されていて、全体として理解しやすい内容だった。一方で、実際に自社の技術や技能を整理し、どこまでを「固有技術」として捉えるのかについては、実際の取り組みの際に判断が必要になると感じた。
・自社が保有する技術を棚卸しし、共通する強みを「固有技術」として整理する考え方が参考になった。今後の技術課題探索や新しい適用先の検討を進めるうえで、有効な手法だと感じた。